

紫漣会だより

14号
No. 1

令和6年7月発行

京都教育大学大学院
連合教職実践研究科
「紫漣会」

『人間教師』を育てるお手伝いがしたい

令和6年度 同窓会『紫漣会』会長 池田 善樹
(平成20(2008)年度学校経営力高度化コース修了生)

平素は「紫漣会」（京都教育大学大学院連合教職実践研究科同窓会）の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今年度から「紫漣会」会長を務めさせていただきます池田善樹と申します。もとより浅学非才ですので同窓会員の皆様を始めとする周囲の皆様のご協力により、より良い運営に心掛けたいと存じます。

私が1期生として学ばせていただいてから15年以上の時間が過ぎましたが、その間に母校は大学院全体の学科再編等により今日の姿に発展・拡充されました。その結果、我々が学んでいた頃にも増して数多くの人材を育て輩出されています。同窓生として、また、地元京都府で教育に携わる者の一人として大変うれしく感じています。

さて、修了生の皆さん、体調はいかがですか。児童・生徒との関係はどうか、職員室の雰囲気はどうか、そして帰宅時間は何時頃ですか。すみません。少しデリカシーに欠ける問いでしたね。学校現場の一日は本当に色々なことが起きますが、そんな状況でも皆さんは京都連合教職大学院での2年間の貴重な学びを生かそうと、現場で孤軍奮闘されている方が多いのではと考えます。大学院にて日々、実践し省察し一歩ずつ前に進む術を身に着け学校現場にやってきた皆様には、今まで見えていなかった新たな課題が見つかりつつある方も居られると思います。これら今まで見過ごされ、教員の「やりがい」とされてきた様態を課題として再構成し、論議の場に挙げ検討する場が同窓会の役割だと考えています。一人一人の実践は漣のように緩やかであっても、会員相互の交流の繰り返しが「実践と研究の往還」となり、いつの日か教育界で紫色の大波となる。そんな日が来たらいいなと私一人で考えています。

今年度も8月11日（日曜、山の日）、紫漣会総会と教育研究会を開催いたします。現場等で活躍の修了生の皆さんや研究者の皆様方と交流し「人間教師」を育てていくお手伝いをしたいと存じます。教育研究会ではスタンフォード大学のヤング吉原麻里子さんに「From STEM into STEAM一次世代の人物像とその育成に向けた取組み」というテーマでご講演いただきます。公私ともに何かとご多忙のこととは存じますが積極的にご参加ください。

結びに、皆様の益々のご活躍とご健康をお祈りし、今後とも、紫漣会の運営と発展にご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

紫漣会だより

14号

No. 2

令和6年7月発行

「ご挨拶」

京都教育大学大学院連合教職実践研究科
学校臨床力高度化系主任 竺沙 知章

雨の季節となりました。毎年、豪雨による甚大な災害に見舞われています。今年も、平年よりも雨量が多くなるような予報も出されています。学校では、大雨警報などが発令された際には、登下校に神経を使われることでしょうか、校内の安全点検や避難所の設営など、何かと大変になることと思います。十分に備えられ、適切な危機管理を進められますようお祈りしております。

さて、昨今の技術革新は、今更ながら、驚かされる進歩を遂げ、加速しているように感じます。特に生成 AI の普及は、私たちの生活にとどまらず、教育にも影響を及ぼし始めています。知的生産活動も AI を活用することが可能となってきています。今後、どのように AI が進歩し、私たちに影響を与えるのか、予測が困難であるように感じます。そのような状況において、私たちはそうした技術革新にどのように向き合っていけばよいのでしょうか。

ご承知のように、「令和の日本型学校教育」として、個別最適な学びと協働的な学びが推進され、ICT の活用など技術革新を取り入れた教育が進められようとしています。そしてこれからの社会に必要な人材や市民を育成することを目的として「STEAM 教育」が提唱され、実践されています。「令和の日本型学校教育」を提言した中教審答申でも STEAM 教育の推進が提案されています。STEAM とは、STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に A が加わったものあり、A については様々な考え方がありそうです。中教審答申によれば、「デザインや感性などと狭く捉えるものや、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲で定義するものもある」とされ、その教育の目指すところ、教育の目的により捉え方に相違があるようです。いずれにしても、科学、技術、工学、数学という理系的な領域だけではなく、文系的な領域も含んだ教育だと言えそうです。

今年の教育研究会では、スタンフォード大学のヤング吉原麻里子先生をお迎えし、「From STEM into STEAM—次世代の人材像とその育成にむけた取組み」という演題で講演をしていただくことになっています。海外からわざわざお招きするわけではなく、直前まで、京丹後市で中高生を対象とした5日間のワークショップを実施されることになっていて、ちょうど日本に滞在されている時期でしたので、またとない機会だと思いご講演をお願いしたところ、快く引き受けていただきました。ヤング先生は、シリコンバレーにおいて STEAM 人材の育成に取り組んでおられます。非常に興味深いのは、STEAM 教育は「人間を大事にするという思想」に支えられていることを常に強調されている点です。加速度的に革新される技術に対して、今後、どのように向き合っていけばよいのか、それらを活用してどのような社会を作っていけばよいのか、重要なテーマについて考える機会になると思います。まだあまりなじみのない STEAM 教育の考えたかに触れ、これからの学校教育のあり方、その可能性について考える機会になればと願っています。

紫漣会だより

14号
No. 3

令和6年7月発行

紫漣会会員のみなさま、教育関係者のみなさま

京都教育大学大学院
連合教職実践研究科
「紫漣会」

盛夏の候 みなさまいかがお過ごしでしょうか。

4月には子ども家庭庁が発足し「こどもまんなか社会」が目指される一方で、学校現場は教員不足が深刻さを増しています。そうした厳しい状況の中で学習活動の充実を図り、行事などをやり遂げて、学期末を迎えられたことと思います。

さて、今年度も紫漣会総会並びに教育研究会を8月11日(日・祝)に本学で開催いたします。どうぞご参加くださいますようお願い申し上げます。

◆ 紫漣会総会

日時 令和6年8月11日(日・祝)13:00~13:50

会場 京都教育大学 F棟 大講義室2

1 総会

議案Ⅰ 令和5年度事業報告について

議案Ⅱ 令和5年度決算報告並びに会計監査報告について

議案Ⅲ 令和6年度役員について

議案Ⅳ 令和6年度事業計画並びに予算案について

2 令和5年度院生・修了生研究支援事業対象研究グループによる成果報告

研究テーマ「学習者の学力差が「特別の教科 道徳」における協働学習に及ぼす影響」

発表者 初任期教員養成コースM2 稲葉 絢、上林 良、安見理沙

◆ 教育研究会 同日 14:00~16:00

1 講演 「From STEM into STEAM - 次世代の人材像とその育成にむけた取組み」

講師 スタンフォード大学 講師 ヤング吉原麻里子 氏

2 参加者による小グループの話し合いと講師を交えたディスカッション

今、急激に変化する社会の中で、新たな発想で教育にあたることが求められています。そこで、シリコンバレーにおいて、グローバルな発想で最先端の人材育成に取り組んでおられるスタンフォード大学のヤング吉原麻里子先生をお迎えし、デザイン思考によるSTEAM 人材の育成の考え方・実践を学び、今後の学校教育のあり方を考える機会としたいと思います。

※ 教育研究会終了後、懇親会を17時からに食堂で計画しております。みなさまのご参加をお待ちしております。